

## 構造用人工軽量骨材

Artificial Light-Weight Aggregate

# メサライト ニュース

昭和43年6月15日

### メサライト大増産ニュース!!

- 日本メサライト工業（株）船橋工場の第3号キルンは、9月中旬より稼働開始決定、更に、来春には、第4号キルン増設計画中。
- 第一セメント（株）川崎工場で、今年5月よりメサライト生産開始。



詳細は次頁以降御覧願ひ上げます

三井金属 建材関係の主要製品
人工軽量骨材〈メサライト〉
軽量断熱材〈三井パーライト〉
土壌改良剤〈ネニサンソ〉
特殊吹付塗装材〈ケニテックス〉
高濃度亜鉛末塗料〈ジンキー〉
錆の上に塗れる防錆塗料〈ラストークランド ラストークマリン〉
耐候性着色防錆塗料〈ユニコープA ユニコープB〉
亜鉛メッキ鋼用塗料〈ユニコープZ〉
建築用銅箔・銅板・亜鉛板
亜鉛ダイキャスト建築金物
各種軽量コンクリート成型品

メサライト発売元  **三井金属鉱業株式会社**

本社	東京都中央区日本橋室町2の1の1(三井ビル内) 東京(279)3411(大代表)	
建材事業部	メサライト部 (土木加工課・建築課)	
大阪支店	大阪市北区中之島3の5 (三井ビル内)	大阪(441) 3731~9
名古屋支店	名古屋市中区錦3丁目23の31 (栄町ビル内)	名古屋(971) 3591~5
福岡支店	福岡市上呉服町10の1 (博多三井ビル内)	福岡(29) 8561~4
札幌営業所	札幌市北二条西4の1 (三井ビル内)	札幌(22) 7121
広島営業所	広島市紙屋町1の2の26 (三井ビル内)	広島(48) 1041
仙台営業所	仙台市名掛町91 (第一ビル内)	仙台(25) 6746
富山営業所	富山市桜橋6の11 (富国生命ビル内)	富山(41) 3246

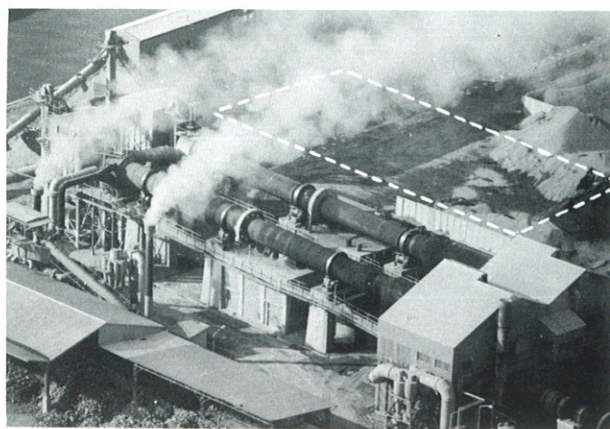
Expanded Shale Light-Weight Aggregate



**三井金属鉱業株式会社**

● 人工軽量骨材『メサライト』の増産体制は、急ピッチで進められています。

(1)日本メサライト工業(株)船橋工場の第3号キルンは、9月中旬より稼働開始決定し、月産35,000m<sup>3</sup>に達す。



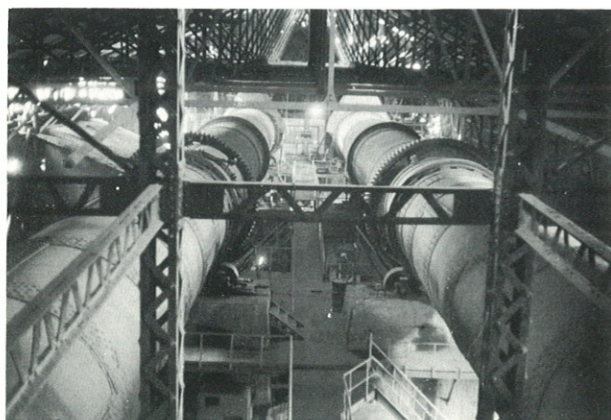
(註)点線内は増設中の第3号キルン予定地

人工軽量骨材『メサライト』につきましては、お蔭様にて、その有利性、経済性をお認めいただき、需要も増加してまいりましたが、これも、ひとえに、皆さまの深い御理解と積極的な御採用の賜と、深く感謝致しております。

昨秋以来、急増するメサライトの需要に対処すべく、日本メサライト工業(株)船橋工場で、増産計画を進めておりましたが、今年9月中旬には、第3号キルン(月産17,500m<sup>3</sup>)の増設稼働が決定し、総生産量は、月産35,000m<sup>3</sup>に達します。

これまで、建築、土木、二次加工関係において、皆さまの、積極的な御採用にも拘らず、一時、品不足のため、大変御迷惑をおかけいたしました。今後、このような事態を招かないためにも、目下、増産工事に、全力を注いでおります。

(2)三井金属と第一セメントの提携により、第一セメント(株)川崎工場で5月中旬よりメサライト生産開始(月産5,000m<sup>3</sup>~8,000m<sup>3</sup>)。



(註)第一セメント(株)川崎工場メサライト焼成キルン

第一セメントと三井金属とは、両社提携してメサライトを生産することとなりました。第一セメントとしてはこ

のメサライトの新規企業化によって経営の多角化と人工軽量骨材の安定的確保を図ることになり、三井金属としては急増する人工軽量骨材の需要に対処しうることになります。

提携の内容は第一セメントのセメント生産設備と三井金属の原石及び焼成技術とのコンビネーションによるもので三井金属よりの第一セメントに対するメサライトの委託生産ということが基本的なものです。この基本的申合せに基き第一セメントは、キルンについては日本メサライト船橋工場と完全に同一方式に改善し、原石受入れ設備、製品貯蔵場所の整備を至急に取り進めると共に日本メサライト船橋工場へ技術員を派遣し焼成技術の習得に努めさせました。

三井金属は原石のテスト輸送、技術指導員の第一セメント派遣等を実施し、設備の完成と共に原石を搬入して5月17日火入れ式を挙行政致しました。現在既に本操業を開始し、順調に良品のメサライトが生産されることとなりました。

同一原石、同一焼成工程、同一焼成技術、同一品質管理に依り、第一セメント川崎工場で生産されたメサライトは日本メサライト船橋工場で生産されたものと同一形状、同一品質のもので試験結果も非常に優秀な成績を得ています。

又京浜工業地帯の中心部にある第一セメント川崎工場は製品の輸送については有利な位置にあるといえます。当面の生産予定量は月産粗骨材、細骨材併せて5,000m<sup>3</sup>~8,000m<sup>3</sup>ですが、なお将来は月産15,000m<sup>3</sup>とする目標です。

(3)日本メサライト工業(株)船橋工場の第4号キルンを来春稼働の予定で増設計画中。

日本メサライト工業(株)船橋工場の第3号キルン稼働第一セメント(株)川崎工場のメサライト生産開始により、総生産量は、月産約40,000m<sup>3</sup>~43,000m<sup>3</sup>になりますが、更に、来春には、日本メサライト工業(株)船橋工場第4号キルンを増設すべく、目下、取り進め中で、これが稼働すると、総生産量は、月産約60,000m<sup>3</sup>と飛躍的に増加し、急速に伸張して行く、メサライトの需要に、お応えすることが出来ると存じます。

(4)厚木山の開発に着手。

更に需要の急増にそなえて、既に買収済の厚木原石山の開発を実施し、焼成工場の建設を計画中。

なお、この原石山は相当良質の頁岩であって、埋蔵鉱量も膨大なるものであるもので、御期待して下さい。

● メサライト御採用について(お願い)

人工軽量骨材『メサライト』につきましては、昨年末より、急増する需要のため、一時、品不足を来たし、需要家の皆さんに大変、御迷惑をおかけ致しましたが、その後、鋭意増産体制に努力した結果、前述の通り、飛躍的な生産量の見通しも立ち、今後の需要について、充分、お応え出来るものと確信しております。つきましては、従来同様、メサライトの経済性、有利性から、各種構造物に御採用いただけますよう切に、お願い申し上げます。

● メサライト増産体制について

(1)増産計画	昭和43年5月	第一セメント(株)川崎工場	月産5,000m <sup>3</sup> ~8,000m <sup>3</sup> (将来15,000m <sup>3</sup> )
	〃 43年10月	日本メサライト工業(株)船橋工場	第3号キルン稼働 月産17,500m <sup>3</sup>
	〃 44年春	日本メサライト工業(株)船橋工場	第4号キルン増設予定 月産17,500m <sup>3</sup>
(2)総生産量	昭和43年5月	月産22,500~25,500m <sup>3</sup>	
	〃 43年10月	〃 40,000~43,000m <sup>3</sup>	
	〃 44年春	〃 57,500~60,500m <sup>3</sup>	



(最近のメサライト工事例)  
霞ヶ関超高層ビル